UNIT
03 나만의 경험 : 自分だけの経験

아이스브레이킹 ウォームアップ

Q1 **みんなの間で流行っていたけれど、自分はあまり興味がなかったものはありますか？**

みんながSNSをしていたけど、投稿には興味がなかったです。

다들 SNS를 했지만, 저는 올리는 것에 별로 관심이 없었어요.

Q2 **推しは、自分だけが知っていたいですか？**
それとも、みんなに知られるくらい有名になってほしいですか？

有名になりすぎると、少し冷めてしまう。

너무 유명해지면 왠지 조금 정이 떨어져요.

토론 질문 ディスカッション

Q3 **「これだけは自分にしかできない」、**
または「自分しか経験したことがない」と思うことはありますか？

楽譜を見なくても、ピアノなら耳で聞いてそのまま弾けます。

저는 악보 없이도 피아노를 귀로 듣고 칠 수 있어요.

Q4 **芸能人を実際に見たことがありますか？**
どこで誰を見ましたか？実際に見た印象はどうでしたか？

実際に見たら、びっくりするほどスタイルがよかったです。

실제로 보니 놀랄 만큼 비율이 좋았어요.

Q5 **今まで経験した仕事の中で、一番珍しかったアルバイトや職業は何ですか？**

遊園地で着ぐるみを着て、子どもと写真を撮りました。

유원지에서 탈을 쓰고 아이들과 사진을 찍는 아르바이트를 했어요.

Q6 **「こんな偶然もあるんだ」と驚いた経験を一つ話してください。**

旅行先で大学の友だちに偶然会いました。

여행지에서 대학 친구를 우연히 마주쳤어요.

Q7 **後で後悔しそうだから、**
いつかはやっておきたいと思っていることはありますか？

結婚は、後悔しないようにちゃんと考えたいです。

결혼은 나중에 후회하지 않도록 진지하게 생각해 보고 싶어요.

Q8 **人生で一番大きな壁にぶつかったり、危機を経験したりしたのは、どんな時でしたか？**

友だちと夜遅くまで連絡が取れず、誘拐されたのかと思って焦りました。

친구가 밤늦게까지 연락이 안 돼서 납치당한 줄 알고 정말 초조했어요.

UNIT 03

ススロ 죽음을 선택할 수 있도록 안락사를 허용해야 하는가?

1 本文

68歳の元高校教師(きょうし)キム・ヨンスさんは、末期(まっき)のすい臓がんで余命(よめい)3か月と診断(しんだん)された。痛み止めの量は日に日に増え、最近は一日のほとんどをベッドの上で過ごしている。キムさんは「家族に弱っていく姿を見せたくない。意識がはっきりしているうちに、自分で最期(さいご)を決めたい」と話す。しかし韓国では、延命治療(えんめいちりょう)の中止は認められていても、医師の助けを借りて死を選ぶことは認められていない。スイスに行けば可能だが、費用は数千万ウォンかかる。娘は「父の気持ちは分かるけど、一日でも長く一緒にいたい」と涙を流す。担当医(たんとうい)も「本人の意思は尊重したいが、医師が死を手伝うことには抵抗(ていこう)がある」と悩んでいる。同じ病棟(びょうとう)には「家族に迷惑をかけたくないから」と同じ選択を望む患者(かんじゃ)もいる。国が、末期患者が自ら死を選ぶ権利を認めるか、認めないか、どちらか一つを選ぶとしたら、あなたはどちらを支持しますか。

今日の表現

末期(まっき) 말기 / 余命(よめい) 여명, 남은 수명 / 延命治療(えんめいちりょう) 연명치료 /

最期(さいご) 임종, 생의 마지막 / 抵抗(ていこう)がある 거부감이 있다

2 二つの立場

〈立場 A〉許可すべきだ。

- 海外では、厳しい条件付きで認めている国も多い。
- 緩和(かんわ)ケアでも、すべての痛みは取り除けない。
- 認めないと、海外へ行ける人だけが選べることになる。
- 死に方を選ぶことも、生き方の一部だ。

〈立場 B〉許可すべきではない。

- 弱い立場の人が、死を選ぶよう追い込まれかねない。
- 余命の診断が外れることも、実際にある。
- まずは緩和ケアを充実させるのが先だ。
- 一度制度を作ると、対象がどんどん広がる。

私の立場 □ 立場 A □ 立場 B ※中立は選べません

3 ディベート

1R 最初の主張

全員 1回。時計回り。理由は三つまで。

- [ ] 私は○○の立場です。理由は三つあります。まず〜、次に〜
- [ ] これは〜という前提に基づいています。

2R 指名して反論

全員1回。「○○さんに反論します」と言って反論を始める。終わったら隣の人に順番を渡す。

- [ ] たしかに〜ですが、それは〜を前提とした話ではありませんか。
- [ ] その主張は、〜という点を軽視しています。
- [ ] 実際には、〜する場合も少なくありません。
- [ ] そもそも「〜」の定義が違うのではありませんか。

3R 反論に答える

反論された人のみ。パスできない。

- [ ] その指摘は当たりません。なぜなら〜
- [ ] たしかにその点は認めます。ただ〜
- [ ] 今の反論は、私が言っていないことへの反論です。

4 ゆさぶり質問

多数派に先に使う。

1 — 立場 A(賛同する) と言った人へ

安楽死を認めた後の調査で、申請した高齢患者の約半数が「家族の負担になりたくない」を理由に挙げていたとします。それは本当に「本人の意思」だと言えるでしょうか。

2 — 立場 B(反対する) と言った人へ

制度を作って5年後、対象が末期患者から「治る見込みのない重い病気の人」にまで広がり、利用者が10倍に増えたとします。それでも、最初に認めた判断は正しかったと言えますか。

3 — 全員へ (本文の最後の段落)

緩和ケア施設が全国的に足りず、キムさんは入所まで6か月待ちで、その前に亡くなる可能性が高いとします。それでも「まずは緩和ケアを」と言える状況でしょうか。

4 — 全員へ

キムさんが、弁護士と医師3人の前で、半年の間に3回、家族の同意も得たうえで同じ意思をはっきり示したとします。それでも、国はその選択を止めるべきでしょうか。

5 最終質問

- [ ] 立場 A　[ ] 立場 B　[ ] 変わった　[ ] 変わらなかった
- [ ] 最初は〜と思っていましたが、○○さんの指摘で考えが変わりました。
- [ ] 立場は変わりませんでしたが、理由が変わりました。
- [ ] 今まで〜という点を考えていませんでした。

6 使える語彙

2Rの「その主張は〜という点を軽視しています」の〜に入れる材料です。

❶ 立場Aが使う語彙・「友情に見えるだけだ」と言うとき。

自己決定権	자기결정권
尊厳を守る	존엄을 지키다
苦痛を和らげる	고통을 덜다
意思を尊重する	의사를 존중하다
条件付きで認める	조건부로 인정하다
選択肢を与える	선택지를 주다

❷ 立場Bが使う語彙・「友情に見えるだけだ」と言うとき。

命の重み	생명의 무게
圧力を感じる	압박을 느끼다
誤診	오진
歯止めがかからない	제동이 걸리지 않다
緩和ケアを充実させる	완화 치료를 충실하게 하다
悪用される	악용되다

1R メモ

自分の立場・理由三つ・根拠とした前提

2R メモ

誰に反論するか・相手が軽視した点・自分の反論